



麻生多摩美の森だより

60

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえずり公園一

麻生多摩美の森の会広報紙第 60 号 2020 年 11 月 30 日発行

発行人：会長 田中肇 編集者：伊勢谷 能宣

麻生多摩美の森の会

検索



森の活動を再開して 会長 田中 肇

コロナ禍における活動自粛の期間を経て、6ヶ月目に入ろうとしています。メンバー全員が元気に戻ってきたと言いたい所ですが、残念ながら、色々な事情から参加できない人もいます。月2回の活動時でさえ約10名ほどの少人数ですが、4つの分科会のリーダーを中心に、活動を進めてもらっており、頭が下がる思いです。少ない人数だからこそ、各個人の活動にじっくり目を向けることができます。

「森づくり分科会」の中村さん。木々や鳥について詳しく、剪定時には率先して指導役になり、質問にも的確に答えてくれます。今年度は、北斜面の整備に力を注ぎます。「畑の管理分科会」の豊田さん。畑全般に関して全責任を持ち、朝早くから皆が帰った後まで残って畑を見守っています。定番の里芋の他、今年はサツマイモに取り組みました。「施設・工作分科会」の井上さん。今年度の初仕事は、藤棚の長椅子の設計・材料を入手し、

間野、増田さんと一緒に丈夫な椅子を作りました。最後に「広報分科会」の伊勢谷さん。多忙な中、Twitter環境の整備や広報誌・第59号を原稿集めから自らの原稿で締め切りを守って発行しました。これら分科会のメンバーを中心に他のメンバーも協力して中身の濃い活動を行っていると思います。森へ来ると、季節毎に色々な顔を見せてくれます。色んな木々があり、花や昆虫、キノコまで多くの生物に会えます。その名前を知ることさらなる興味を持つと思いますが、図鑑を持ち歩く訳にはいかず、皆さんどのように解決していますか？そんな時に役に立つスマホのアプリが、「BIOME」です。撮影した写真から、その生物の名前を探してくれる優れたものです。調査できなくても写真をアップすることで分かる人から回答をもらうことができます。撮影した場所も地図上にアップされるため、撮影場所を把握することができます。よかったら、お試し下さい。



樹木の剪定を行う中村さん



豊田さんを中心に、みんなで育てたサツマイモ



設計した長椅子に塗装をする井上さん

堆肥とは

豊田 雅章



畑の担当者が時間、労力を最も使っている作業が、堆肥づくり。だけど、堆肥づくりの苦労話を他の会員にしても、話がかみ合わないことが多々ある。そこで、堆肥について理解を深めてもらうため、この紙面で紹介したい。まずは用語等の説明から。

〈肥料と堆肥の違いとは？〉

肥料は、作物が育つのに必要な養分を与える役割。堆肥は、作物が育つ土壌環境を改善する役割。肥料がなければ作物は育たないが、堆肥を使わなくても作物は栽培できる。でも、堆肥を使わないでいると年々、生長が衰えてくる。

〈堆肥とは？〉

*有機物が微生物（細菌、カビなど）により、ある程度まで分解されたもの。

残った分解されにくい有機物（植物の細胞壁をつくるリグニン）は、土の中で時間をかけて分解される。分解されにくい有機物が残っていても完熟堆肥という。

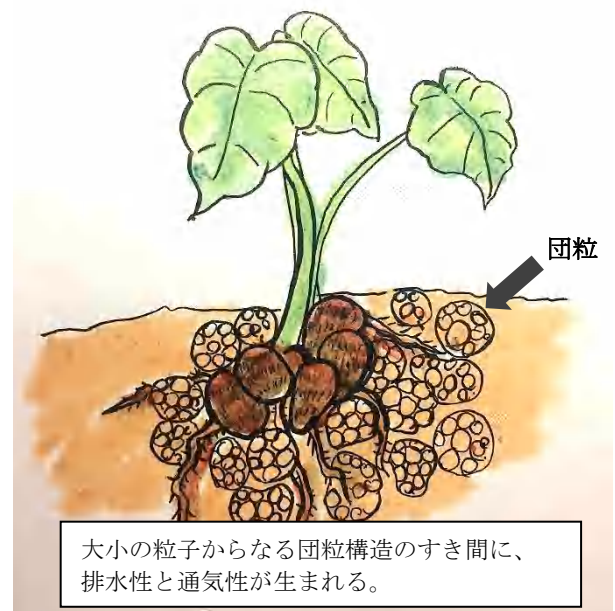
*有機物：動物や植物を構成する物質。動物は無機物から有機物をつくり出すことはできない。植物は光エネルギーを利用して水と二酸化炭素から有機物をつくり出す。その有機物を動物は食べて、自分の体をつくるたんぱく質に変える。

多摩美の森で堆肥の材料にしている有機物は、落ち葉、家庭で出る生ゴミ、馬糞、米ぬか。

〈土壌に与える影響 団粒構造〉

堆肥により、*団粒構造がつけられ、土が軟らかくなり、養分・水分の保持力が適性になる。そして根からスムーズに吸収されるようになる。

*団粒構造：土には大小の粒子があり、細かい粒子と粗い粒子の割合が土によって異なる。堆肥は大小の粒子を接着する役割をし、粒子間にすき間をつくる。このすき間のある状態が団粒構造で、そのすき間が排水と通気性をつくり、植物の生育に好都合となる。



〈土壌に与える影響 微生物の活性化〉

土壌中には多種類の微生物が数多く存在する。その数は土壌1g中に数億と言われている。これらの微生物は養分が少ない土壌中では活動は乏しいが、堆肥のようなエサになる物質が入ってくると、それから栄養を取り、活性化する。リグニンのような有機物はゆっくり分解されるので、微生物にとっては、時間をかけてエサをもらい続けることになる。微生物がバランスよく長い時間活動することになれば、植物は病気にかかりにくくなり、順調な生育が期待できる。

新会員自己紹介

向井 かなめ

群馬県で生まれ、田畑と山に囲まれた自然豊かな地で高校卒業まで過ごしました。麻生区の現在の地に住んで二十数年たちますが、ここにも素晴らしい自然があることに気がつきました。そのうちの一つが駅まで続く多摩自然遊歩道です。

近年、遊歩道の入り口に位置する多摩美の森がだんだん整備されてきました。生い茂っていた笹が取り除かれ見通しが良くなり広くもなりました。藤棚ができベンチが置かれ憩いの場もできました。

そんな時に目にしたのが『多摩美の森ボランティア募集』のチラシでした。試しに作業の体験をして楽しそうなのでやってみようかと入会を決めました。作業を通して感じたことは、季節の移ろいを肌で感じられる、いろいろなことを教えてくださるので新たな発見がある、作業の結果が見えるから達成感を味わえる、などです。少しでもお役に立てるよう楽しみながら参加していきたいと思います。

井上 千鶴

出身は北海道で、9年前に川崎市に引っ越してきました。実家は昔農家をやっていた子供頃から畑仕事には馴染みがありました。最初の入会説明時に「虫は大丈夫か」と聞かれましたが見るだけならどんな虫も平気だと思います。虫系のモンスターパニック映画や大量の蟻が襲ってくるSFドラマを観ても平気なくらいなので…。里山保全活動をされているとお聞きし、昔懐かしさから参加させていただきました。まだ数回の参加ですが、皆さん丁寧に教えてくださるので楽しく作業させていただいています。皆さん活動的かつ自由に作業されていて、とても楽しそうに活動されていると感じました。今年は新型コロナウイルスの影響で例年行われている行事が中止になり、経験出来るものが減ってしまったのは残念ではありますが、その分来年への期待が高まります。何かとご迷惑おかけすることもあると思いますがこれからよろしくお願いたします。

多摩美の森<秋>



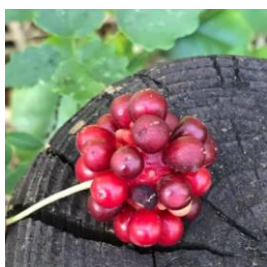
森のめぐみ。左からシイタケ、カキ、オニグルミ



収穫したサトイモを仕分け中



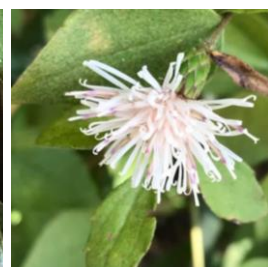
ウバメガシ



サネカズラ



ムラサキシジミ



コウヤボウキ



キンモクセイ

「ナラ枯れ」

学習会&情報交換会に参加して

中谷 一郎

10月24日(土)麻生区役所第1会議室にて開催されました(主催:里山フォーラム in 麻生)。

初めに神奈川県森林協会西口氏、神奈川県横浜川崎地区農政事務所倉野氏から「ナラ枯れ」の実態、対策、推移についての講義があり、次に参加9団体のそれぞれの現場からナラ枯れの現状を報告し合いました。参加者は川崎市緑政部、麻生区道路公園センターの職員を含め48名にのびりました。



被害にあったコナラの木。多数のカシナガが穿孔し、根元にフラス(木屑とフンが混ざったもの)が散乱している

コナラでは樹木の3~5割程度が枯れるようです。予防・駆除では殺菌剤の樹幹注入、粘着シート被覆・伐倒くん蒸等々が在りますが、緑地の立地状況や事情により具体的な目途はすぐには立ちません。大口徑に成ったものは萌芽更新が難しいので苗木を植樹したほうが良いと言われています。

情報交流会では多大な手間や経費がかかること、倒木などの危険木が増えることなどから、行政の被害対策事業が望まれ、予算要望の話もあがりました。後日麻生区長、副区長に報告し、道路公園センター所長と話し、本庁の緑政部に相談して、今後の対策を進めるようお願いしています。

ナラ枯れとは、カシナガクイムシが媒介する「ナラ菌」によって、コナラやクヌギなどのブナ科の樹木が集団的に枯れる被害のことで、神奈川県でも今年度は被害が増大しています。カシナガのオスが樹木に穿孔し、

メスがナラ菌を運んで樹木を枯死させます。落葉広葉樹に多く、

今後の活動予定

副会長 中谷 一郎

令和2年はコロナ禍のため植樹祭・収穫祭が中止です。西生田小学校2年生「西生田 キラリー*たんけんたい」は子どもたちが森に来て感じたことを質問状にして、それを多摩美の森の会が回答する方法で行いました。また、おん育ラボ「乳幼児親子教室」絵本と音楽を森で行うのが楽しいと3回実施しています。来年もお願いしたとの事です。里山ボランティアも募集中です。近隣の皆様も、会員以外の皆様もぜひお気軽にお子さんとお出かけ下さい。

【今後の活動予定】

- 12/5(土) 幹事会、樹木の剪定、食事会
- 12/6(日) 交流事業、多摩市民館講演
- 12/19(土) プレーパークへの協力
- 12/23(水) 万福寺人参品評会、市民館 14~16時
- 12/26(土) 作業納め、清掃、注連縄
- 1/4(月) 作業初め、草刈、清掃
- 1/9(土) 幹事会、草木の手入、蔓除去、清掃
- 1/10(日) 7区交流会、川崎市公園緑地協会会議室
- 1/16(土) プレーパークへの協力
- 1/17(日) 草刈、樹木手入、野原の草刈
- 2/6(土) 樹木の間伐、草刈、蔓の除去
- 2/21(日) 下の野原の草刈、蔓の除去
- 3/6(土) 畑の手入草取り、野原の草刈
- 3/21(日) 草刈、草取り、樹木の手入、清掃

毎月<第一土曜>と<第三日曜>10~12時、多摩美の森で活動を行っています。

(10月~5月は10時~12時)

見学、飛び入り参加大歓迎!

里山の楽しさを親子で味わってください!

お問合せ: 田中 肇 070-4468-7195

hajimeta@nth.biglobe.ne.jp
http://web-asao.jp/hp2/tamami/

会員募集中(年会費1,000円)